

# 第2コムハウス通信

2024年5月17日(金)  
1106号

夏の兆しが見えはじめる「立夏」も過ぎ、陽気も増して、早くも夏の気配を感じるこの頃です。さて、アルミ缶回収場所の青ネットの間に紫色の「オダマキ」が2年越しに、花を咲かせています。オダマキは、午前中は日向を、午後は明るい日陰を好む植物とのこと。プレハブとプレハブの間になっているこの場所は、オダマキにとって快適なのでしょうね。この機会にオダマキの花言葉を調べてみたところ、花言葉は「愚か」でした。一見ネガティブに感じるかもしれませんが、愚直に努力を続ける、という意味もあるそうです。また、紫色のオダマキの花言葉は…「勝利への決意」でした。今年度が始まって早2か月、ゴールデンウィーク明けで少し疲れを感じることもありますが、アスファルトを突き破り、力強く根を張ったこの「ド根性オダマキ」の花が、自分の決意にエールを贈ってくれているように感じます(5月16日の市民タイムスの記事に掲載されました)。



おどろき  
朝と昼と気温の差が大きいこのころ  
衣類にも注意しながら日々過ごしています。  
作業も行動もゆくりゆくりすすんでいます。元気の声か。  
ひびきあると、こころが  
元気をもらっています。  
おどろき

おきやり  
農産物直売所(おみや)の  
産地直産を田地に  
配り始めました。今年は  
今おきやり、いなかた  
地域にも知ってもらえる  
うにかるはっています。

いばき  
4月から始めたラジオ体操。  
はじめのころは重さの少なからず  
なかも最近では自分のペースや動ける  
範囲で手足を動かすことができるようになってきました。  
なかも、職員ともに  
体が動かし、良い時間になっています。

つくりや  
七夕のマルチはぎ作業が  
はじまりました。1反の畑を、  
30分程。あという間に、皆で  
協力して、おわらせて  
いたつくりやの仲間達です。  
D. Sekine